

1. 日本の工業の特色と工業地域

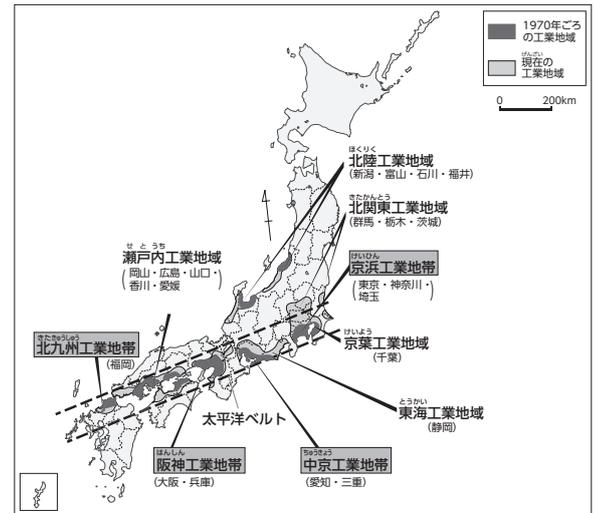
(1) 資料Ⅰから、日本の工業地域の分布の特色を挙げ、その理由を説明してみよう。

特 色	(例) 太平洋ベルトに集中している。
理 由	(例) 原油や鉄鉱石などの原材料の輸入や製品の輸出に便利だったことや、人口が多く労働力が豊富であることなどの要因があったため。

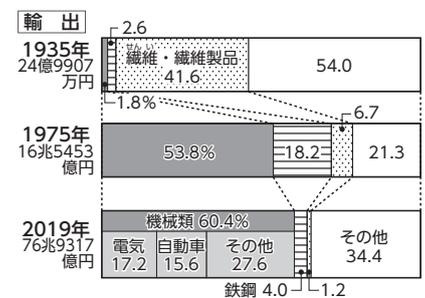
(2) 資料Ⅱを参考に、日本の年代ごとの輸出品の特色をまとめてみよう。

1935年	(例) 繊維工業が中心であった。
1975年	(例) 機械類や鉄鋼などの重工業が発展した。
2019年	(例) 付加価値の高い電気機械や自動車などの輸出が中心となっている。

資料Ⅰ 日本の主な工業地域



資料Ⅱ 日本の輸出品目の変化

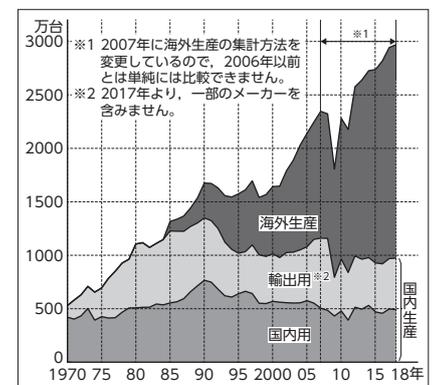


2. 変化する日本の工業

(1) 資料Ⅲから、日本の自動車生産の変化の特色を挙げ、変化してきた理由を説明してみよう。

変化の特色	理 由
(例) 1985年ごろから自動車の海外生産が増えはじめ、近年は国内生産よりも海外生産の方が多い。	(例) 1980年代に起きた貿易摩擦によって、日本企業がアメリカ合衆国やヨーロッパに進出して現地生産するようになったため。

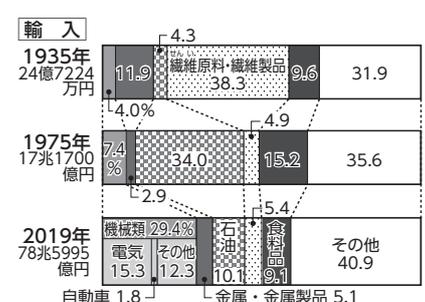
資料Ⅲ 日本の自動車生産の変化



(2) 近年の日本が抱える日本の工業の課題を説明してみよう。

(例) 日本の企業の海外進出に伴い、国内の産業の空洞化とよばれる現象がみられるようになったほか、アジア諸国の工業化により、日本の企業が追い上げられてきている。

資料Ⅳ 日本の輸入品目の変化



本時のまとめ

◆ 内陸部に新しい工業地域が形成された背景について、説明しよう。

(例) 戦後、日本の工業は、臨海部を中心に重化学工業が発展してきたが、近年は、高速道路の発達によって、輸送に便利な内陸部にも輸送機械工業や電気機械工業が発達するようになった。